

14 よな ご ひがし こう とう がっ こう 米子東高等学校 (鳥取県)

2回目

■演技タイトル／

「結び ～HANDSIGN～」

■演技内容／ダンス・演劇 ■メンバー人数／20人

▼動画はこちら



15 おお いずみ さくら こう とう がっ こう たち かわ がっ こう 大泉桜高等学校・立川ろう学校 (東京都)

5回目・4回目

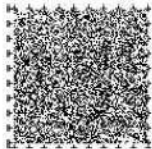
■演技タイトル／

「君の手で何を変える？」

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／10人

▼動画はこちら





ゲストパフォーマンス

● ^{げき だん} ^{かい} 劇団あしたの会

日本で最初の手話サークル誕生の物語を披露し、会場全体を感動の渦に包みました。

演劇「歩きはじめる時」 作／劇団あしたの会

ー昭和38年 日本で最初の手話サークル誕生物語ー [▼動画はこちら](#)



● ^{じ もと こう こう せい} ^{きょう ど げいのう} 地元高校生による郷土芸能 「^{がさ おど} しゃんしゃん傘踊り」

地元高校生による「しゃんしゃん傘踊り」を披露し、会場を盛り上げました。

[▼動画はこちら](#)



● ^{たい かい こう しき おう えん} 大会公式応援ソング

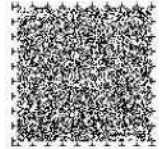
● ^{だい かい ぜん こく こう こう せい しゅ わ} ^{こう し えん} 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 ^{こう しき おう えん} ^{はんどさいん} ^{こえて} 公式応援ソング HANDSIGN「声手」

作詞 TATSU・SHINGO

作曲 中村 泰輔

[▼動画はこちら](#)





バリアフリー対策

障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる大会とするため様々なバリアフリー対策を行いました。

● LEDスクリーン

ステージの様子について情報保障を行うため、広い会場の、どの席からも見やすくなるよう手話通訳・ライブ映像・要約筆記の3つの要素を1つの画面で表示できる大型のLEDスクリーンを配置しました。



● 総合案内

総合案内に、手話通訳者を常駐配置しました。また、総合案内だけでなく会場内にも手話でコミュニケーションがとれる手話スタッフを配置しました。



● 音声コード

チラシ、プログラムなどの配布物に内容を音声で読み取りができる「音声コード」を記載しました。

● 要約筆記・スマートグラスの貸し出し

要約筆記の内容を表示するスマートグラス(限定10台)の貸し出しを行い、スマートグラスを通して要約筆記をご覧いただきました。

● 音声ガイド

ステージの様子を実況しながら伝える「音声ガイド」を用意しました。

● ヒアリングループ(磁気ループ)

ホール内にヒアリングループ(磁気ループ)が設置されていることを案内しました。

● インターネット動画配信

会場へ来ることのできない方も大会を楽しむことができよう、インターネットでライブ配信(中継)を行いました。

● ハートフル席(スペース)

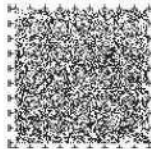
観客席前方にハートフル席(約70席)を設置し、障がいのある方、車いすの方、歩行が大変な方などにご利用いただきました。

● 託児・救護室の配置

簡易ベッド付の救護室には、看護師を配置し、また、専門の託児スタッフのいる託児室を設置しました。

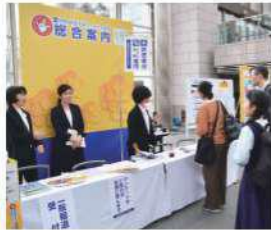
● 無料福祉タクシー

JR鳥取駅から会場間を結ぶ無料福祉タクシーを運行しました。



かい じょう もよお 会場の催し

● フリースペース



① 総合案内
来場者への会場の案内、演目の貼り出しなどを行いました。



③ あいサポートマルシェ
障がい福祉サービス事業所11店舗が出店し、飲食物などの販売を行いました。



**⑤ 手話パフォーマンス甲子園
公式グッズ販売コーナー**
大会の記念に公式グッズ(大会当日限定)の製作・販売を行いました。



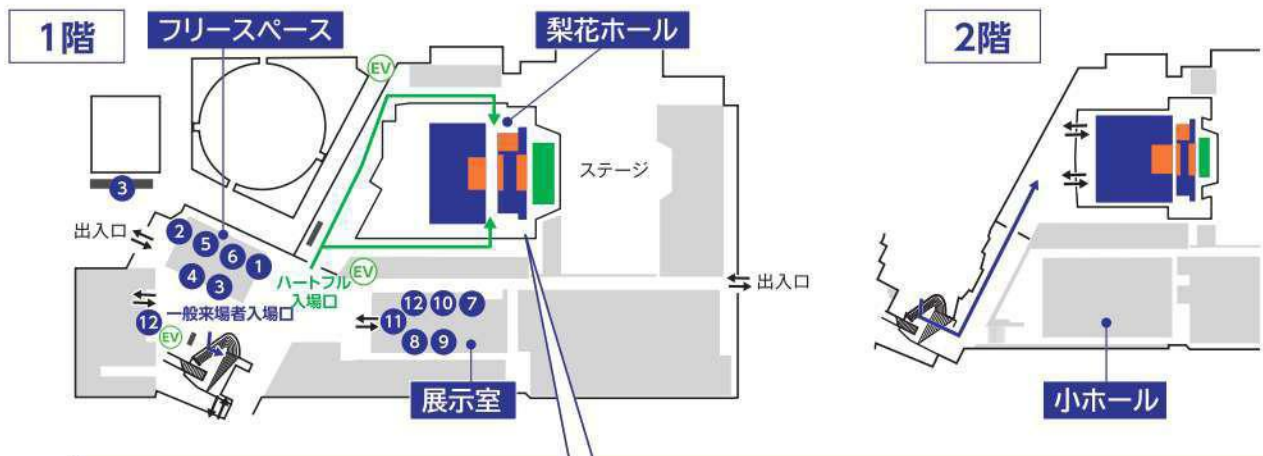
**② 鳥取県聴覚障害者協会
コーナー**
大会共催者の(公社)鳥取県聴覚障害者協会によるオリジナルグッズなどの販売を行いました。



④ 高校生販売コーナー
地元鳥取県の高校生(倉吉農業高等学校、智頭農林高等学校、日野町役場JK課)による実習製品などの販売を行いました。



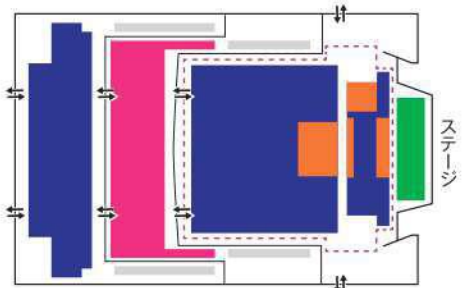
**⑥ 手話パフォーマンス甲子園
弁当販売コーナー**
アベ鳥取堂による大会応援メニューとして鳥取県の食をお楽しみいただける弁当の販売を行いました。

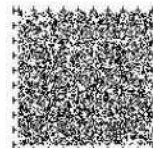


梨花ホール内座席図

- ハートフル席
- 関係者席
- 一般来場者席
- 出場チーム席

破線内 ヒアリンググループ(磁気ループ)使用可能エリア





てんじしつ
展示室



⑦手話ロボット体験コーナー
追手門学院大手前中・高等学校
ロボットサイエンス部による
「手話ロボット(しゅわっと君)」
の体験展示を行いました。



**⑧手話パフォーマンス甲子園
カフェ**
すなば珈琲による手話を使う
カフェとしてドリンクなどの販
売を行いました。



⑨鳥取聾学校写真展
鳥取聾学校が撮影した写真
10点を展示しました。



**⑩手話パフォーマンス甲子園
PRコーナー**
大会紹介及び第1回大会か
らの様子のパネル展示を行
いました。



⑪出場チームPRコーナー
出場チームの学校パンフレット
の展示を行いました。



**⑫協賛企業・団体
PRコーナー**
大会に多大な協賛をいただ
いた企業・団体様のポス
ター・チラシ展示などを行う
PRブースを設置しました。

しょう だい かいぎしつ
小ホール・第1会議室



サテライト会場
臨場感あふれる映像でステ
ージの様相を上映しました。

じえいあーとつ とり えき
JR鳥取駅



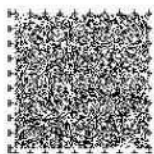
**手話パフォーマンス甲子園
PRコーナー**
鳥取駅内にJR利用者・観光
客、来場予定者などに向け
て大会案内・PRを行いました。

こうしき はんばい
公式グッズ販売

大会の記念に公式グッズ(大会当日限定)を製作・販売し、多くの方にお買い物を楽しんでいただきました。

- ・ポロシャツ
- ・Tシャツ
- ・缶バッジ
- ・ピンバッジ
- ・マフラータオル
- ・ノート
- ・ボールペン・シャーペンセット
- ・キーホルダー





へい かい しき 閉会式

しん さ いんちようこうひょう

審査員長講評



審査員長

しょうざき たかし
庄崎 隆志

この度、受賞された皆さん、おめでとうございます。審査員の皆さん、お疲れさまでした。受賞チームのご関係の皆様もおめでとうございます。

全国高校生手話パフォーマンス甲子園も、第6回目になりました。今年は全国から57チームの応募があり、非常に素晴らしい演技で、予選審査で15チームを選ばせていただき、見事な表現を見せていただきました。出場チームの皆様を拝見し、本当に感動しました。高校生らしいエネルギー溢れる、素晴らしい甲子園でした。ありがとうございます。

優勝は、2年連続で沖縄県の真和志高校でした。テーマは「ラップ THE オキナワ」という素晴らしいテーマで、シナリオ構成、演出がしっかりしていました。演出者のそれぞれの役作り、きつと練習を積み重ねて、本当に素晴らしい内容でした。特に、「島人ぬ宝」の思いを見事に描かれていました。本当に感動が伝わってまいりました。やはり、芝居のラスト、終わり方は、非常に鮮明に伝わってきました。

準優勝の奈良県立ろう学校は、以前も優勝経験のある学校ですが、テーマも「ユールネバーウォークアローン」という珍しいテーマです。これは、人生は一人

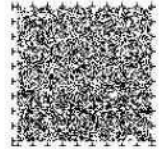
ではないという非常に意外性のある、手話表現も巧みで、透明性のある、非常に魅了される、見ていて飽きさせない、そういった演技でした。4人で心一つにして、皆で練習してきたことと思います。身体表現もすばらしく、巧みで、きつと、毎日、毎日の鍛錬の成果が出ていたのではないのでしょうか。おめでとうございます。

第3位が、埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園、こちらのテーマは「手話は命」。非常に珍しい内容でした。ね。オリジナル性溢れる、非常に活き活きとした表現を伝えていただきました。5人の演技は、非常にお客様を魅了させるような、舞台いっぱいを使って四方八方に走り回りながら、本当に楽しい舞台作りだったと思います。初参加で3位の受賞というのは、非常に珍しく、きつと優勝目指して、頑張っって練習してきていただいたと思います。非常に感動をいただきました。ありがとうございます。

審査員特別賞は、石川県の田鶴浜高等学校ですが、第1回大会の優勝校です。非常に高いレベルを維持し、表情も非常に惹きつけられ、魅力的でした。演技は笑顔いっぱい、一人一人の笑顔で、自然に観客の皆様も笑顔になるという、本当に元気をいただいたような作品でした。ありがとうございます。

審査員長として6年目を迎えました。今回も本当に素晴らしい手話パフォーマンスを審査させていただきました。本当に審査員長として幸せだと感じております。今日、皆さんにお会いし、将来、大きな舞台に立つ高校生がいらっしゃるかもしれません。初めて聞こえない人に会った高校生もいらっしゃるかもしれません。人前に出るのは恥ずかしいけれども、練習を通して、自分自身も成長できたという、そんな高校生もいらっしゃるかもしれません。

この素晴らしい舞台で、自分自身を変えていく可能性を、毎回ワクワクしながら、私は見させていただいています。本番までに色々な苦勞があったと思います。本当にこの演技でいいのかどうか、その疑問を持つこ



とも、とても大切です。簡単に成し遂げてしまうのではなく、この手話言語は正確なのかとか、色んな疑問を持ちながら練習を続けてこられたこと、そこに必ず意味があると思います。今後も素晴らしい手話パフォーマンスを続けていただきたいと思います。

今後ますます、この大会が発展し、手話パフォーマンスの魅力をさらに広げていただきたいと思います。そして、手話言語の普及と、聞こえない人、聞こえる人がともに社会で繋がっていただきたいと思います。

最後になりますが、この素晴らしい舞台を作っていただきました、鳥取県の皆様をはじめ、全日本ろうあ連盟の皆様、日本財団の皆様、実行委員会の皆様、スタッフ、高校生の皆様、そして、支えてくださった全ての方に、改めてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

へい かい

●閉会あいさつ



公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長

しも がき あきのり
下垣 彰則

ただ今、ご紹介いただきました、鳥取県聴覚障害者協会 理事長の下垣彰則と申します。

沖縄県立真和志高等学校の皆様、優勝おめでとう

ございます。そして、第2位 奈良県立ろう学校の皆様、第3位 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園の皆様、おめでとうございます。

今回第6回目となる、全国高校生手話パフォーマンス甲子園をご覧いただいた会場の皆様、いかがでしたでしょうか。

手話言語の聖地、ここ鳥取県に全国各地から沢山の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。また、佳子内親王殿下の手話言語でのご挨拶、大変感動いたしました。

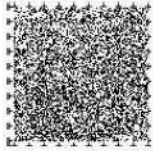
全国高校生手話パフォーマンス甲子園を通して、更に手話言語への理解が広まっていると実感しております。本日、出場チームの演技を見て、若い皆さんの情熱が伝わり、大変感動し涙を抑えきれませんでした。聞こえない人と聞こえる人が共に見て楽しめる、演者と客席が一体となれる演技は、本当に素晴らしいものでした。その情熱をまた見せていただきたいと思いますので、来年もぜひ挑戦してください。

今後も皆さんと共に楽しめる大会であり続けたいと思います。

最後になりましたが、第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催にあたり、来賓の皆様をはじめ、審査員の皆様、出演された高校生の皆様、関係者の皆様、本日は本当にありがとうございました。

以上をもちまして、第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を閉会といたします。





交流会

● 日時

令和元年9月28日(土)18時～20時

● 会場

ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間
(鳥取県鳥取市今町2-153)

● 出席者

約230人

- 手話パフォーマンス甲子園出演者
(出場チーム、審査員、司会など)
- 来賓
(全日本ろうあ連盟、日本財団、鳥取県議会議員など)
- 主催、共催者
(実行委員会委員、鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会)

● 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

● 形式

立食ビュッフェ



会場の様子

● 次第

- 主催者あいさつ(平井 伸治 鳥取県知事)
- 乾杯(藤縄喜和 鳥取県議会議長)
- 御歓談
- 演技司会者紹介
(早瀬 憲太郎さん、河口 真里奈さん)
- 出場チーム抱負
- マグロ解体ショー
- ライブペインティング(門 秀彦さん)
- 審査員長からのエール・パフォーマンス(庄崎 隆志さん)
- 高校生フリー交流



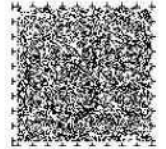
出場チームによる集合写真

● 皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただきました。



大会に出場する高校生と御歓談になる佳子内親王殿下



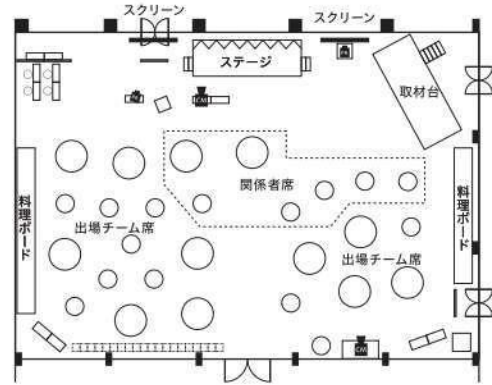
高校生フリー交流

高校生フリー交流では「交流カード」の交換などを通じて、出場チーム同士の交流を深めました。



「交流カード」を使った交流の様子

配席図



出演者と高校生の交流の様子



地元食材を使った料理を提供



庄崎 隆志さん、田辺 和弘さんによるパフォーマンス



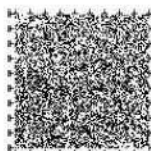
門 秀彦さんによるライブペインティング



マグロ解体ショー(すなば珈琲提供)



記念撮影をする高校生の皆さん



よ せん しん さ かい 予選審査会

● 日時

令和元年8月1日(木)及び2日(金)

● 会場

鳥取県庁(鳥取県鳥取市東町一丁目220番地)

● 審査員(4名)



ろう者

審査員長: 庄崎 隆志さん
演出家・俳優



ろう者

審査員: 小中 栄一さん
全日本ろうあ連盟副理事長



聞こえる人

審査員: 門 秀彦さん
絵かき



聞こえる人

審査員: 塩野谷 斉さん
鳥取大学地域学部 教授

● 審査方法

各チームから提出を受けたパフォーマンス映像(3分以内)について、審査員4名により審査を行い、本大会に出場する15チームを選出しました。



審査会及び結果発表の様子

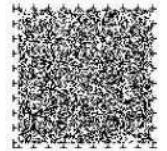
● 審査結果は全国へ配信

8月2日(金)に、結果発表会及び本大会発表順などの抽選を行い、その様子を全国に向けてインターネットにてライブ配信しました。



ライブ配信画面・映像の様子

くさんあり、とても感動しました。
本当にありがとうございます。
57チームの皆さんが、作品に対して、とても真剣に取り組んでいらっ
しゃるのがとてもよかったです。
6年前の第1回大会は、

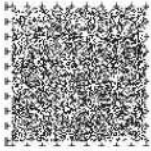


● 予選参加チーム(本大会出場チーム除く)

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園には、25都道府県から57チーム(59校)の参加申込みがありました。

※本大会出場チームを除く

ブロック名	学校名
北海道・東北 ブロック	・ 聖ウルスラ学院英智高等学校(宮城県)
関東 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじみ野高等学校(埼玉県) ・ 豊南高等学校(東京都) ・ 潤徳女子高等学校(東京都) ・ 郁文館グローバル高等学校(東京都) ・ 横浜南陵高等学校(神奈川県) ・ 金沢総合高等学校(神奈川県) ・ 二俣川看護福祉高等学校(神奈川県)
中部 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓新高等学校(福井県) ・ エクセラン高等学校(長野県) ・ 島田工業高等学校(静岡県) ・ 杏和高等学校(愛知県) ・ 桜花学園高等学校Aチーム(愛知県) ・ 桜花学園高等学校Bチーム(愛知県) ・ 岡崎東高等学校(愛知県) ・ 安城生活福祉高等専修学校Aチーム(愛知県) ・ 安城生活福祉高等専修学校Bチーム(愛知県)
近畿 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラーク記念国際高等学校大阪天王寺キャンパス(大阪府) ・ 芦間高等学校(大阪府) ・ 松原高等学校(大阪府) ・ 鳴尾高等学校(兵庫県) ・ 奈良県立高等養護学校(奈良県)
中国・四国 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取城北高等学校(鳥取県) ・ 境港総合技術高等学校(鳥取県) ・ 米子高等学校(鳥取県) ・ 岩美高等学校(鳥取県) ・ 琴の浦高等特別支援学校(鳥取県) ・ 明誠学院高等学校(岡山県) ・ 倉敷翔南高等学校(岡山県) ・ 岡山学芸館高等学校(岡山県) ・ 岡山県美作高等学校(岡山県) ・ 高松南高等学校(香川県) ・ 尽誠学園高等学校(香川県) ・ 聖カタリナ学園高等学校(愛媛県)
九州・沖縄 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大和青藍高等学校(福岡県) ・ 三井高等学校(福岡県) ・ 久留米筑水高等学校(福岡県) ・ 神埼清明高等学校(佐賀県) ・ 平戸高等学校(長崎県) ・ 阿蘇中央高等学校(熊本県) ・ 大分東明高等学校(大分県) ・ 沖縄尚学高等学校(沖縄県)



こう ほう 広報

こう こく

● 広告など

- ・日本海新聞／記事体広告(3回)
- ・日本海新聞／うさぎの耳 1ページ(1回)
- ・日本海テレビ／大会PR番組 2分(2回)
- ・日本海テレビ／開催告知テレビCM 15秒(30回)
- ・日本海テレビ／情報番組「スパイス」にて告知
- ・FM山陰／開催告知ラジオCM 20秒(5回)
- ・日本海テレビ／24時間テレビイベントでのPR



日本海新聞／うさぎの耳



24時間テレビイベント



開催告知テレビCM

● チラシなど



A4版チラシ 参加チーム募集編



A4版チラシ 本大会開催PR編



B1版／B2版ポスター



うちわ



横断幕



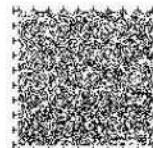
のぼり／卓上
開催PR用



のぼり／卓上
大会紹介用



懸垂幕



● ^{しゅわ}手話パフォーマンス甲子園☆^{こうしえん}動画チャンネル

・ YouTube動画



参加チーム募集編



出場チーム決定編



大会ダイジェスト編

・ YouTubeでのライブ配信



8月2日(金)
予選審査会結果発表



9月29日(日)
本大会

● ^{えすえぬえす}ホームページ・SNS

公式ホームページサイト、Facebook、Twitter、LINE、YouTubeを活用し、大会情報などを随時発信しました。また、LINEスタンプの販売をしました。

● ^{しゅわ}手話パフォーマンス甲子園 ^{こうしえん} ^{おうえん}応援メニュー(弁当及びパフェ)



大会を盛り上げ、PRするため、地元協賛企業様が応援メニュー(弁当及びパフェ)を開発しました。

● ^{たいかい}大会ダイジェスト番組 ^{ばんぐみ}

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場する高校生の青春模様をはじめ、大会の結果や魅力、感動を伝える総集編番組を制作、放送しました。

・ 番組名／



・ 放送日／日本海テレビ

令和元年11月24日(日)16時30分～17時30分

告知(ダイジェスト版)番組

令和元年11月19日(火)21時54分～22時00分

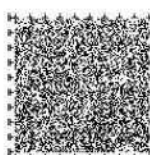
令和元年11月22日(金)20時54分～21時00分

・ 出演者

司会：TATSU (HANDSIGN)／大垣 舞(日本海テレビアナウンサー)

ナビゲーター：細田 彩斗(鳥取聾学校卒業生、第1回・第2回本大会出場者)

レポーター：岡本 大空(青翔開智中学校・高等学校)・田熊 陽与(倉吉北高等学校)・松原 明日香(米子松蔭高等学校)



だい かい ぜん こく こう こう せい しゅ わ
第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
 ほん たい かい しん さ じつ し よう りょう
本大会審査実施要領

1 概要

- (1) 日程 令和元年9月29日(日)
- (2) 場所 とりぎん文化会館 梨花ホール(鳥取県鳥取市)

2 審査員 審査員は、ろう者3名及び聞こえる人3名の計6名とし、このうち1名を審査員長とする。

3 審査方法 5の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

4 演技時間等

- (1) 演技時間は、6分以上8分以内とする。
- (2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行ったときから開始し、生徒の「ありがとうございました」の発声又は手話をもって終了する。
- (3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき(不明確な場合も含め)主催者が判断することとする。
- (4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

・演技開始後	→ 白
・6分経過(演技時間下限到達。残り2分前)	→ 青
・7分30秒経過(残り30秒前)	→ 黄
・8分超過(演技時間上限超過)	→ 赤

- (5) 演技の準備時間は、概ね1分以内とする。
- (6) 演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う等)

5 採点方法

(1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話言語の正確性・分かりやすさ	演出力・パフォーマンス度	合計
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
合計	90点満点	210点満点	300点満点

(2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

- ア 手話言語の正確性・分かりやすさ
手話言語が正しく表現されているか。顔の表情も使って、分かりやすく表現されているか。演技者が表現したい内容が手話言語で伝わり、理解できるか。
- イ 演出力・パフォーマンス度
チームとしての一体感があるか。機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあるか。演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか。構成や演出がよく工夫されているか。演技の構成がスクリーンの表示に頼りすぎたものになっていないか。

(3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議(減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。)により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項目	内容	
	差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
	第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
	演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
	定められた演技時間の上限を超過した場合(例:8分を超え8分30秒まで△10点、8分30秒を超え9分まで△20点)	超過30秒ごとに10点減点
	定められた演技時間の下限に達しなかった場合	10点減点
	演技上のセリフや手話に対応した字幕の表示が不十分な場合	10点減点
	その他、定められたルールに反した場合※	5点減点
	その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※「その他、定められたルールに反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。

- ・1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。
- ・スクリーンに表示する内容に動画を使用した場合。
- ・舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。
- ・演技終了の合図(「ありがとうございました」の発声又は手話)を全く行わず、演技を終了させた場合。

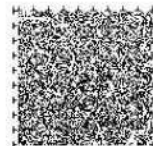
6 表彰チームの決定方法等

- (1) 優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。
- (2) 審査得点が同点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。
ア「手話の正確性・分かりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。
イアが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。
ウイが同点の場合は、審査員長が順位を決定する。
- (3) 審査員特別賞は、審査員で協議の上、審査員長が決定する。
- (4) 全日本ろうあ連盟賞は、全日本ろうあ連盟が決定する。
- (5) 日本財団賞は、日本財団が決定する。
- (6) 鳥取県聴覚障害者協会賞は、鳥取県聴覚障害者協会が決定する。
- (7) その他、上記受賞チーム以外の全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評(審査員名は非公開)を送付する。
- (2) 本大会出場チームについて、チーム名及び審査得点(優勝、準優勝及び3位に限る。)を、大会公式ホームページに掲載する。

手話パフォーマンス甲子園実行委員会



じっこう いんかい い いん

実行委員会委員【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

※令和元年10月1日現在

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長	久松 三二
	日本財団 理事長	尾形 武寿
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	澤田 敬子
	鳥取県商工会議所連合会 会長	藤縄 匡伸
	鳥取県教育委員会 教育長	山本 仁志
	鳥取県福祉保健部長	宮本 則明

かんじ

監事

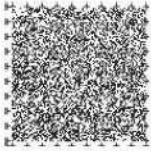
役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	上杉 郁子
	鳥取県会計管理局会計指導課長	古田 慎一

きかくすいしんかい ぎ い いん

企画推進会議委員

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長兼ささえあい福祉局長	宮本 則明
委員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長	戸羽 伸一
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭
	鳥取県教育委員会 教育次長	足羽 英樹
	鳥取県高等学校長協会 会長	御船 斎紀
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	二階堂 茂夫
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子

▼目の不自由な方のための音声コード



第6回 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

実績報告書

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

- 主催／手話パフォーマンス甲子園実行委員会 ●共催／鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会 ●特別協力／一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 後援／内閣府、厚生労働省、文部科学省、鳥取市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、公益社団法人全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM

●協賛／



AKASHI S.U.C.



●特別協賛／



大塚製薬



鳥取銀行



山陰合同銀行



鳥取県情報センター



株式会社 不二家システムセンター



社会医療法人 仁厚会・敬仁会グループ



スーパーマーケット マルイ

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地(鳥取県 福祉保健部 ささえあい福祉局 障がい福祉課内) TEL.0857-26-7682 FAX.0857-26-8136

facebook twitter LINE@ YouTube <https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/> 手話パフォーマンス甲子園 検索